

話し合いは難航

水俣病 患者補償 “物価”で意見対立

水俣病患者家庭互助会と新日窒水俣工場
の患者補償についての話し
合いは、二十九日午前十一時から
水俣市役所市長室で患者互助会側

渡辺会長、中津副会長ら五人、新
日窒水俣工場側西田工場長、石野
次長ら四人と県から森永商工水産
部長、横田主計課長、地元から中
村市長、石原助役、深水、長野両
県議、淵上市会議長ら十四人が集

まうて行なわれた。

森永商工水産部長が正式に調停
案を双方に提示したが、同案の
条項に“原因が工場排水と確定
してもあらたに補償金の要求は

行なわない”とあることから互
助会側の一部に反対意見が出た
ため、双方午後一時すぎから別
個に協議、同四時すぎから再び
話し合った結果、互助会側もこ

れをのんだ。そのあと物価が変
動した場合どうするかで再び意
見が対立、話し合いは深夜まで
難航した。